

JVMA通信

■ No.17 (平成27年7月号) ■

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

一般社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



ばるちゃん

■ No.17 (平成27年7月号) 目次

■ 第3回通常総会報告

- ・第3回通常総会..... 1
- ・JV賞受賞報告..... 2
- ・総会フォトギャラリー..... 3

■ 見学会報告

- ・自動弁部会「若手半日ショップツアー」開催報告..... 3

■ 今後のセミナー開催予定

- ・海外進出の A to Z..... 4

■ 会員企業ピクセス!

- ・「平成27年度 日本工学会フェロ-」として
アズビル(株)奥津氏が認定される!..... 4

■ 関係官庁・団体からのお知らせ

- ・平成27年度高年齢者雇用安定助成金のご案内..... 5
- ・平成27年度東京都助成事業説明会のご案内..... 5



■ 工業会活動報告

- (平成27年5月～平成27年7月)..... 6

■ 会員の動向

- 10

■ 第3回通常総会報告

当会第3回通常総会が下記のとおり開催された。

■ 第3回通常総会

開催期日: 平成27年5月25日(月)
場 所: エクシブ琵琶湖(滋賀県米原市)
出席者数: 79名(会員70名、来賓9名)

当日は、平成26年度事業報告・決算報告並びに、平成27年度事業計画・収支予算が原案どおり承認された。

また、本年度は役員改選期でもあり、役員(理事)改選並びに定款改正(一般法人法改正に伴う対応)についても原案どおり承認された。

選任された新役員メンバーは、右上表のとおり。

滋賀県での開催ということもあり、本年度の総会では「ひこにゃん」も登場し、「ばるちゃん」との共演を果たした。

また、懇親会では大久保彦根市長、彦根商工会議所の小出会頭にもご出席いただき、盛況のうちに終了した。

新役員 (平成27年5月～平成29年5月まで) -敬称略-

代表理事・会長	中村 善典 ※(金子産業株)
理事・副会長(東京支部長)	小林 公雄 ※(株キッツ)
理事・副会長(東海支部長)	落合 潔 ※(兼工業株)
理事・副会長(彦根支部長)	村井 米男 ※(株オーケーエム)
理事・副会長(近畿支部長)	中村 政弘 (オーエヌ工業株)
専務理事	比企 諭

※:新任



ひこにゃん & ばるちゃんとの集合写真

■第3回通常総会報告

■JV賞受賞報告

～平成26年度JV賞受賞者に(株)フジキン 山路氏と池田氏～
長年にわたり、バルブ関連の技術・研究開発に尽力

第3回通常総会終了後、引き続き「平成26年度JV賞」受賞者の報告が行われ、受賞者として(株)フジキン 山路 宮治雄 氏と 池田 和哉 氏の両名に田淵前会長から賞状と目録・記念品が授与された。

山路氏は主に弁・継手の設計・開発業務に、池田氏は表面処理、流量コントローラ等の開発業務に従事され、長年にわたり、バルブ業界の技術力向上に尽力されたことが高く評価された。



田淵前会長より表彰される山路氏(中央)と池田氏(右)

■■■ JV賞 ■■■

JV賞は昭和63年に設けられた賞で、本会に寄せられた寄付金を基金として、その運用益により、毎年1名を受賞者として表彰している。本会関係者を対象に、各部会、委員会、支部からの推薦による候補者を募集し、本会及び業界発展に大きく貢献された方に対し、記念品と賞金20万円を授与している。(毎年5月の通常総会に併せて表彰式を実施)

JV 賞を受賞して

株式会社フジキン 常務取締役 兼 技術本部長 山路 宮治雄
常務付取締役 兼 創造開発本部長 池田 和弥

この度は、歴史ある(一社)日本バルブ工業会の JV 賞を受賞し、非常に光栄に嬉しく思っております。ご推薦頂きました関係各位に心から厚く御礼を申し上げます。

(株)フジキンが半導体製造装置用弁・継手に参入したのは、今から35年前の1980年頃でした。当時は半導体製造用として明確な仕様は示されておらず、装置メーカー様や半導体メーカー様に他業界でご使用されているバルブを提供し、実際にご使用頂いて不足している仕様を勉強させていただくという状況でした。そのため、製品を開発しても、何回も創り直しを余儀なくされました。ちょうどそのころ東北大学の犬見教授がウルトラクリーンテクノロジーというコンセプトを発表され、セミナー、シンポジウムで日本中の半導体関係者が喧々諤々の議論を重ね、半導体製造に必要な要件がまとめられました。ガス関連の代表例は、ガス供給系の最上流部の貯蔵タンク・ボンベから最下流に位置するプロセスチャンバーに至る配管チューブ、バルブ、圧力調整器、流量コントローラ、継手等々全ての部品の接ガス面の鏡面化でした。内表面粗さの凹凸部分に付着残留する微小なパーティクルを一挙に除去するというものです。この内面鏡面化によりガス供給系のパーティクル数が激減し、それによってそれまで見えていなかったガス供給系に存在するデッドスペースの影響やバルブ開閉時に発生するパーティクルの問題が顕在化されました。フジキンは内面研磨と超純水による洗浄技術を組み合わせたUP処理(Ultra Pure Treatment)技術を1985年に確立し、全パーツに適用しました。デッドスペースを比較するという観点からガスの置換特性という評価方法を考案し、各種構造のバルブ機器のガス置換特性を比較した結果、バルブの面間と同じ長さのストレートチューブと比較して、遜色ないガス置換特性のダイレクトダイヤフラムバルブを創造開発しました。ストレートチューブとガス置換特性が同じということで、これ以降、ガス置換特性に対する御指摘は皆無となりました。また、弁の開閉操作に伴うパーティクルを正しく評価するため、パーティクルカウンターへのガスの導入方法を工夫し、二重管方式の弁開閉時のパーティクル測定系を構築し、バルブ1開閉あたり発生する0.1ミクロン以上のパーティクルの数を確実に測定可能にしました。多くのバルブのシート部分に採用されているコニカルシール方式では、シート部の摩擦がパーティクルの原因であることが明らかになり、フラットシール構造に変更することでパーティクルフリーバルブを実現しました。また、バルブシート部の樹脂からのアウトガスや水分放出についても材質、パージ方法、ベーキング方法を工夫することでステンレスと遜色ない程度に下げられることが解りました。こうして本格的に半導体製造装置用バルブとして当時主流であったアメリカのメーカーに対抗可能となり、さらに追い越して、日本が半導体製造で世界一の地位を確立する勢いでシェアを挙げてまいりました。当時開発したバルブが今でも半導体業界の主流となっております。参入当時は全くなかったシェアも国内で70%程度をここ20年程度、維持しているのは喜ばしい限りです。

クリーン化することで今まで見えなかった問題が見えて来たということは多々報告されています。半導体業界以外でもクリーン化の技術はこれから益々必要と考えており、他産業にも応用し、産業界発展のために、微力ではございますが、今後とも尽力して行きたいと考えております。

■第3回通常総会報告

■総会フォトギャラリー



↑ 田渕前会長(左)と中村新会長(右)

【懇親会アトラクション】
↓ (フルート・横笛と箏の演奏)



【懇親会】(来賓挨拶)大久保 貴 彦根市長 ↑
(乾杯)彦根商工会議所 小出英樹 会頭 →



中川前彦根支部長のご尽力により、「ひこにゃん」が特別友情出演!

【講演会】→
「世界経済の現状と日本の課題」
(講師)
京都大学
柴山桂太 准教授



↑ 懇親ゴルフ大会 (彦根カントリー倶楽部)
↓ 彦根観光



■見学会報告

■自動弁部会「若手半日ショップツアー」開催報告

今回で8回目となる自動弁部会主催の「若手半日ショップツアー」が、下記のとおり開催された。

開催日: 平成27年7月22日(水)

見学先: (株)キッツ 茅野工場 (長野県茅野市): 鑄造設備中心の見学

参加者: 18名



見学レポート

東工・バルックス株式会社 技術開発部 吉田 隼兵

この度、日本バルブ工業会の、若手社員を対象とした株式会社キッツ 茅野工場殿の見学会に参加させて頂きました。見学内容は、会社概要説明、工場内の鑄造ライン、加工ライン、自動組立ラインの見学といった流れで見学を行いました。工場内には1日に数千個のバルブを生産するため、多くのパーツや完成した製品が並んでいて、その数の多さに圧倒されてしまいました。しかし、それらは“かんばん方式”という方法で管理されていて、ムダを出さないための工夫が一目でわかりました。そして、鑄造から機械加工、組立と完成までの大部分が自動化されていて、大量生産をするためにはこんなにも大規模な環境が必要なのかと驚きました。今回の見学会で、改めて私たちの身近なところに、たくさんのバルブが使用されていると実感することができました。また、同じ分野の工場を見学できることは非常に貴重なことで、バルブの開発に携わっている自身にとっても良い刺激となりました。最後になりましたが、お忙しい中見学会にご対応いただいた、株式会社キッツ 茅野工場殿の皆様にご挨拶申し上げます。

■ 今後のセミナー開催予定

■ 海外進出の A to Z ～海外事業展開検討開始時から事業撤退時まで～（主催：国際委員会）

国際委員会では、まだ海外でビジネス展開していない会員企業向けのセミナーを下記のとおり開催する。

セミナーでは、ASEANと中国をモデルケースに、海外進出前の情報収集、進出予定先現地でのビジネスパートナー探し、現地法人設立までの段取りなどについて説明いただく。また、進出や撤退に伴うリスクについても多数の事例を紹介する予定。参加費は無料。

日 時：平成 27 年 9 月 15 日(火) 13:30～16:10 ※個別相談 16:10～17:00

場 所：機械振興会館（東京タワー前）

定 員：30 名

講 師：独立行政法人中小企業基盤整備機構 ASEAN 担当シニアアドバイザー／中国担当シニアアドバイザー



※個別相談は、ASEAN 関連：2 名、中国関連：2 名の合計 4 名まで対応。
（先着順に 4 名。相談内容を事前連絡の上、申込み）

※参加申し込み締め切り：平成 27 年 9 月 7 日(月)まで。

■ セミナーに関するお問い合わせ

（一社）日本バルブ工業会 TEL:03-3434-1811

会員企業ピックス！

「平成 27 年度 日本工学会フェロー」としてアズビル(株)奥津氏が認定される！

去る 6 月 5 日(金)、森戸記念館第一フォーラム(東京)において公益社団法人日本工学会の平成 27 年定時社員総会が開催され、第 2 部の授与式において、当会自動弁部会長である奥津良之 氏(アズビル(株))が「平成 27 年度 日本工学会フェロー」として認定証を授与された。
(本年度のフェロー認定：奥津氏を含め 7 名)



フェロー認定証(盾)を手にする奥津氏(右)

■ 日本工学会フェロー制度

日本工学会フェローは、工学・工業の分野において顕著な業績を挙げ、工学に関する幅広い経験と見識をもつ個人に対して授与する称号で、平成 20 年 5 月に制定された制度。（日本工学会の定時社員総会において認定証を授与）

個人の業績や工学振興への貢献を顕彰するとともに、今後も工学に関する幅広い見識と俯瞰的な立場から、日本工学会の発展と工学の社会的使命の遂行に指導的役割を担うことが期待される。

フェローの活動としては、今後さまざまな課題を提案し、その成果をまとめて政府などに提言・答申を行うことも可能となる。

■■■ 事務局からのお願い（正会員向け：高齢者雇用に関するアンケート調査について）■■■

（一社）日本バルブ工業会では、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構から「産業別高齢者雇用推進事業」の委託を受け、バルブ製造業界における高齢者雇用に関するアンケート調査を実施いたします。（調査結果を取りまとめ後、平成 28 年度に高齢者雇用に関するガイドラインを作成予定）8 月中旬に正会員各社宛にアンケート用紙をお送りいたしますので、本調査にご協力をお願いいたします。（アンケート提出期限：9/15 まで）

■ 関係官庁・団体からのお知らせ

■ 平成 27 年度 高齢者雇用安定助成金のご案内 【(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、高齢者活用促進のための雇用環境整備の措置を実施した事業主に対して、助成金を支給している。

■ 高齢者活用促進のための措置の実施 ■

- 新たな事業分野への進出等による高齢者の職場又は職務の創出
- 機械設備、作業方法、作業環境の導入・改善による高齢者の就労の機会の拡大
- 高齢者の就労の機会を拡大するための雇用管理制度の導入・見直し
- 定年の引き上げ、定年の定め廃止、希望者全員を対象とする継続雇用制度の導入



高齢者の雇用環境整備に関する計画の策定・計画書の提出

上限額 1,000 万円 で要した費用の 2/3 を支給。(中小企業以外は 1/2)

但し、活用促進措置の対象となる、1年以上継続して雇用している60歳以上の雇用保険被保険者一人につき ^(※) 20万円を上限とする。



高齢者雇用安定助成金リーフレット

(※) 平成 27 年 4 月 10 日付けで制度内容が一部改正

- 1) 建設、製造、医療、保育又は介護分野の事業主の場合、一人当たりの上限額 30 万円 (20 万円 ⇒ 30 万円に引き上げ)
- 2) 環境整備計画のうち、①70歳以上への定年の引き上げ ②定年の定め廃止 ③65歳以上への定年の引き上げ及び希望者全員を70歳以上まで雇用する継続雇用の導入 (①～③いずれかの措置の実施については、70歳以上 ⇒ 67歳以上に要件緩和)

【本件に関するお問い合わせ先 及び 関連リーフレット】

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 https://www.jeed.or.jp/elderly/subsidy/subsidy_sokusin.html
 (PDF) 高齢者雇用安定助成金リーフレット <https://www.jeed.or.jp/elderly/subsidy/download/27katuyousokusin.pdf>

■ 平成 27 年度 東京都助成事業説明会のご案内 【(公財)東京都中小企業振興公社】

東京都及び公益財団法人東京都中小企業振興公社では、都内中小企業者等が行う製品開発や販路開拓等の取組にかかる経費の一部を助成する事業を行っており、このほど、下記のとおり助成事業説明会を開催する。

■ 助成事業の概要 と 説明会日程 ■

- **成長産業分野の海外展開支援事業** (助成率 1/2 以内、助成限度額 300 万円、助成対象期間 1 年 3 ヶ月以内)
^(※) 東京都が指定する成長産業分野において、自社の技術・製品の海外への販路開拓に必要な経費の一部を助成 (海外展示会出展等の経費も含む)
- **次世代イノベーション創出プロジェクト 2020 助成事業** (助成率 2/3 以内、助成限度額 8,000 万円、助成対象期間 4 年以内)
^(※) 東京都が指定する開発テーマに基づき、中小企業を核とした連携体(大学・研究機関等)が行う技術・製品開発に要する経費の一部を助成
- **東京都地域中小企業応援ファンド助成事業** (助成率 1/2 以内、助成限度額 800 万円、助成対象期間 2 年以内)
 中小企業者などが行う地域資源を活用した地域の魅力向上、又は^(※) 東京の課題解決につながる新しいビジネスモデル構築を支援する事業
^(※) 東京都が指定する産業分野・開発支援テーマ・課題等 http://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/1507/documents/0008_01.pdf

説明会日程 (いずれも都内開催) ①8/27(木) ②8/28(金) ③8/31(月) ④9/3(木) ⑤9/4(金) 詳細は下記 URL へ

【説明会参加申込み・お問い合わせ】 ※説明会参加には、事前申し込みが必要
 (公財)東京都中小企業振興公社 <http://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/1507/0008.html>

■工業会活動報告（平成27年5月～平成27年7月）

新・理事会

・第9回理事会

27-05-14(木) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 平成26年度決算報告及び事業報告承認の件
- (2) 平成27年度予算案(最終案)承認の件
- (3) 平成26年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
- (4) 会員企業種別変更(正会員⇒賛助会員)承認の件
- (5) 平成27年度若手社員研修会開催承認の件
- (6) 新技術研究開発テーマ募集(平成27年度)承認の件
- (7) 第3回通常総会提出議案の最終確認について
- (8) その他

①OA機器リース料返金について

②元職員石綿健康被害について

・第10回理事会

27-07-21(火) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 第3回通常総会収支報告承認の件
- (2) 顧問選任承認の件
- (3) 会員退会(賛助会員1社)承認の件
- (4) 退職金支給規程改正承認の件
- (5) 平成27年度会計監査業務委託及び監事提言の件
- (6) 第4回通常総会開催場所等について
- (7) その他

①若手社員研修会開催概要報告

②次世代リーダー育成セミナー参加申込状況について

③「環境適合バルブ製品登録制度」の実施について

④OA機器リース料返金について

⑤海外進出セミナー開催について

⑥元職員石綿健康被害について

臨時監事会

27-06-10(水) 於:機械振興会館

出席者:4名

主要審議事項:

- (1) 平成27年度会計監査業務委託について
- (2) 支部会計の在り方について
- (3) 会議体(部会、委員会等)の稟議決裁の在り方等について
- (4) その他

バルブ部会

◎幹事会

27-06-05(金) 於:機械振興会館

出席者:27名(委任状含む)

部会議題事項について事前協議を行った。

◎部会

27-06-05(金) 於:機械振興会館

出席者:61名(委任状含む)

主要審議事項:

- (1) 分科会・WGの活動報告
- (2) 平成27年度会議開催日程について
- (3) 部会活性化策の検討
- (4) その他

◎工業用分科会

○電力弁G会議

27-06-18(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 関連市況動向について
- (2) その他

○鍛鋼弁G/ステンレス・ボール弁G合同会議

27-05-22(金) 於:大阪鐵鋼会館

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) 関連市況動向について
- (2) その他

◎建築用分科会

27-05-21(木) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 関連市況動向について
- (2) 環境配慮バルブ登録制度について
- (3) その他

27-07-23(木) 於:大阪鉄鋼会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 関連市況動向について
- (2) その他

◎産業用分科会

○彦根産業用弁G、水道用弁G、船用弁G合同会議

27-05-08(金) 於:やす井

出席者:11名

27-07-27(月) 於:彦根支部会議室

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 3Gの活動報告について
- (2) 平成27年度上期生産高について
- (3) 情報交換

自動弁部会

◎幹事会

27-07-09(木) 於:貸し会議室大阪研修センター江坂

出席者:10名

・部会議題事項について事前協議を行った。

◎部会

27-07-09(木) 於:貸し会議室大阪研修センター江坂

出席者:17名

主要審議議題

- (1) 幹事交代及び委員退任について
- (2) 秋季見学会開催案について
- (3) 若手半日ショップツアー及び勉強会開催について
- (4) 新技術研究開発プロジェクトについて
- (5) 若手研修会、環境配慮バルブ登録制度、広報活動等についての報告

◎若手半日ショップツアー

27-07-22(水)

見学先:(株)キッツ 茅野工場

参加者:18名

水栓部会

◎幹事会

27-07-29(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:11名

・部会議題事項について事前協議を行った。

◎部会

27-07-29(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:30名

主要審議事項:

- (1) 平成27年度見学会開催について
- (2) 給水栓標準化小委員会審議報告
- (3) 止水栓標準化小委員会審議報告
- (4) 保証小委員会審議報告
- (5) 技術小委員会審議報告
- (6) 節湯WG審議報告
- (7) 平成27年度新技術研究開発テーマ募集について
- (8) エコプロダクツ展に関する当工業会への依頼について

◎給水栓分科会

27-07-29(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:20名

給水栓分科会関連事項について、協議した。

◎止水栓分科会

27-07-29(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:10名

止水栓分科会関連事項について、協議した

◎給水栓標準化小委員会

27-05-26(火) 於:機械振興会館

出席者:14名

27-06-30(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:12名

27-07-28(火) 於:機械振興会館

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) 主査の交代について
- (2) 節湯基準の JIS 規格化について
- (3) 電安法の改正について

(4) 浄水器関連 JIS について

(5) 長住協基準の一部改正について

(6) 「公共建築工事標準仕様書」改訂について

(7) エコマーク基準の改正について

◎止水栓標準化小委員会

27-06-04(木) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)改訂について
- (2) 若手社員研修会のテキスト見直しについて

◎保証小委員会

27-05-22(金) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 保証に関する課題見直しと冊子作成について
- (2) 長住協からの水栓標準化検討の依頼について
- (3) 「水栓金具の安全確保のための表示に関するガイドライン」改正について

◎技術小委員会

27-05-12(火) 於:機械振興会館

出席者:10名

27-06-25(木) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) 新技術研究開発プロジェクト「有害物質規制の対応技術調査」について
- (2) 国内の有害物質規制動向について

ビジョン委員会

27-06-12(金) 於:機械振興会館

出席者:4名

主要審議事項:

- (1) 高齢者雇用推進事業について
- (2) 次世代リーダー育成研修について
- (3) 適正取引ガイドライン及びモデル約款について
- (4) アクションプランの進捗状況について

広報委員会

27-06-08(月) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 着ぐるみ保管箱の制作について
- (2) 展示会のブース運営について
- (3) バルブフォト五七五コンテスト実施案について

◎バルブ展示会タスクチーム

27-05-20(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) ブースデザインの修正について
- (2) ブース運営案について

27-07-31(金) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:4名

主要審議事項:

- (1) ブース運営案について

技術委員会

27-06-18(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) バルブ関連 JISについて
 (2) 環境 WG の審議状況報告
 (3) バルブ学会設立準備 WG の活動進捗について
 (4) バルブ部会活性化のための提案テーマに関して
 (5) 若手社員研修会について
 (6) ISO/TC153 の組織改編について
 (7) バルブ便覧の改訂について
 (8) 新技術研究開発テーマ募集について

◎環境WG

27-05-14(木) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) ホームページ掲載環境関連情報について
 (2) 環境配慮バルブ登録制度への会員コメントについて
 (3) 環境配慮バルブ登録制度開始までのスケジュールについて
 (4) バルブ製品アセスメントガイドライン第3版制作について

27-07-16(木) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) ホームページ掲載環境関連情報について
 (2) 環境配慮バルブ登録制度の運用について
 (3) 評価項目の修正について

◎バルブ学会設立準備WG

27-06-30(火) 於:首都大学東京

出席者:5名

主要審議事項:

- (1) 研究会設立について

国際委員会

27-06-17(水) 於:機械振興会館

参加者:6名

主要審議

- (1) 中小企業の海外進出支援に関するセミナー開催について

バルブ技報編集委員会

27-06-05(金) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 通巻第75号特集企画について
 (2) 編集委員会の活動について

調節弁規格作成委員会

◎調節弁規格作成委員会WG

27-05-13(水) 於:機械振興会館

出席者:8名

27-06-10(水) 於:機械振興会館

出席者:5名

27-07-15(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2005-2-1 改正について
 (2) JIS B 2005-7 改正について

IEC委員会

27-05-13(水) 於:機械振興会館

出席者:8名

27-06-10(水) 於:機械振興会館

出席者:5名

27-07-15(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

- (1) LOPs(List of Properties)の制定進捗について

- (2) 国際投票について

ISO/TC153/SC1 国内対策委員会

27-07-10(金) 於:機械振興会館

出席者:8名

※ISO/TC153/SC2 国内対策委員会との合同開催

主要審議事項:

- (1) 前回委員会からの活動状況について
 (2) 国際投票について
 (3) 今年度の国際会議(フランス)への対応について
 (4) 国内委員会の組織改編について

ISO/TC153/SC2 国内対策委員会

27-06-23(火) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 会議の開催趣旨について
 (2) 現在の WG1 の動向について
 (3) 現在の WG1 審議状況及びN文書の内容について
 (4) 今年度の国際会議(フランス)への対応について

27-07-10(金) 於:機械振興会館

出席者:8名

※ISO/TC153/SC2 国内対策委員会との合同開催

主要審議事項:

- (1) 前回委員会からの活動状況について
 (2) 国際投票について
 (3) 今年度の国際会議(フランス)への対応について
 (4) 国内委員会の組織改編について



バルブ製造業高齢者雇用推進委員会

・第1回

27-06-11(木) 於:機械振興会館

出席者:15名

主要審議事項:

- (1) 産業別高齢者雇用推進事業について
- (2) バルブ製造業高齢者雇用推進事業計画について
- (3) 委員各社の業況について
- (4) アンケート調査実施概要(案)及び調査票(案)について
- (5) 今後のスケジュール確認及び日程について

・第2回

27-07-14(火) 於:機械振興会館

出席者:13名

主要審議事項:

- (1) アンケート調査実施概要(案)及び調査票(案)について
- (2) ヒアリング調査実施概要(案)について
- (3) 今後のスケジュール確認及び日程について

■支部だより

各支部において、次のとおり支部総会が開催された。

・東京支部総会

27-05-21(木) 於:銀行倶楽部

出席者:31名



・東海支部総会

27-05-13(水) 於:岐阜グランドホテル

出席者:12名

・彦根支部総会

27-05-08(金) 於:やす井

出席者:11名

・近畿支部総会

27-05-12(火) 於:大阪新阪急ホテル

出席者:31名



東京支部

○役員会

27-05-21(木) 於:銀行倶楽部

出席者:18名

主要審議事項:

- (1) 平成27年度東京支部総会開催要領及び付議事項の事前審議について
- (2) 第3回通常総会開催要領及び付議事項の事前審議について
- (3) 東京支部夏期研修会(H27.9/4)見学先について
- (4) 東京支部秋期会員総集會(H27.10/13)開催要領(案)について
- (5) その他
 - ①東京都中小企業振興公社27年度助成事業について
 - ②東京支部役員会11月開催場所等について
 - ③26年度決算における支部交付金の取扱いについて

27-07-21(火) 於:機械振興会館

出席者:18名

主要審議事項:

- (1) 平成27年度東京支部総会収支報告について
- (2) 平成28年度東京支部総会開催計画(案)について
- (3) 東京支部夏期研修会(見学会)について
- (4) 次回東京支部役員会(H27.11.17:九州)について
- (5) 東京支部運営規則改正について
- (6) その他

・事業引継ぎ 全国セミナー開催について

東海支部

○懇親ゴルフ会

27-05-13(水) 於:岐阜関カントリー倶楽部

参加者:10名

優勝:夏目 和典 氏(株坂井製作所)

27-07-24(金) 於:荘川高原カントリー倶楽部

参加者:10名

優勝:栄森 貞治 氏(黒谷株)

近畿支部

○役員会

27-07-07(火) 於:阪急ターミナルスクエア17

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 平成27年度近畿支部総会収支報告について
- (2) 近畿支部役員交代について
- (3) 近畿支部秋季会員集會(見学会)について
- (4) 近畿支部役員会(11月)開催について
- (5) 平成28年新年互礼会開催について
- (6) 第4回通常総会及び平成28年近畿支部総会開催について
- (7) その他
 - ①近畿支部所属の賛助会員1社の退会について
 - ②ビジョン委員会への近畿支部代表委員の選出について
 - ③次世代リーダー育成研修実施について
 - ④近畿支部懇親ゴルフ大会実施について

■会員の動向

代表者変更（敬称略）

(株)ケイヴィシー

平成27年4月 代表取締役社長 羽出山 仁

平田バルブ工業(株)

平成27年6月 代表取締役社長 平田 悦三

ミズタニバルブ工業(株)

平成27年6月 取締役社長 水谷 真也

共栄バルブ工業(株)

平成27年7月 代表取締役社長 濱口 雅博

移 転

グローエジャパン(株) 本社

移転先（平成27年4月13日より）

〒107-0061 東京都港区北青山2-11-3

A-PLACE 青山ビル6階

TEL:03-5775-7500 FAX:03-5775-7611

(株)大和バルブ 本社・東京支店

移転先（平成27年4月20日より）

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-4 トキワビル4階

代表 TEL:03-3492-6221 FAX:03-3492-6218

（TEL・FAXは変更なし）

(株)オーケーエム 東京支店

移転先（平成27年6月29日より）

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-20-9

京橋第八長岡ビル3階

TEL:03-3206-1871 FAX:03-3206-1873



■ 会員企業の皆様へ ■

～（一社）日本バルブ工業会事務局からのお願い～

地震、台風などの災害による会社社屋への被害や、製品の製造作業中に死傷者がでる事故等が発生した場合には、速やかに当会宛にご報告をお願いいたします。

（報告の目安）

- ・従業員、作業員等に死傷者が生じた災害または事故
- ・会社の生産活動に支障を及ぼした災害または事故

災害、事故によっては、国が必要な対策を講じなければならない場合もあるため、報告の速報性が重要となります。（災害、事故報告の第一報は、分かっている範囲の内容で結構ですので、まずは第一報を速やかにご報告ください。）

提出された「事故、災害報告書」については、内容を確認の上、所管官庁（経済産業省）へ報告いたしますが、当会及び経済産業省が本報告書をもとに対外的に公表することはありません。

※「災害、事故報告書」の様式は[当会HP](#)「会員専用

サイト」の[事務局からのお願い](#)をご参照。

（会員専用サイトへは、各社のユーザーIDとパスワードの入力要）

暑中お見舞い申し上げます！



平成27年8月5日発行 ■■■ JVMA 通信No.17 ■■■

（発行元）一般社団法人 日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

